



はり絵と文 西尾悦子

制作 WFP応援団



わたしはベラ。小学校2年生 8歳です。
学校に行く前に お手伝いします。
お湯を沸かすのと、家の前を掃くのが私の仕事。
学校は7時半に始まります。
学校まで歩いて50分。急がなくちゃ。
お兄ちゃんは午後から学校に来ます。
教室の数も 先生の数も足りないから、
午前と午後に分けて お勉強します。
今ごろ、お兄ちゃんは畑で 今日 市場に持っていく野菜を
取り入れてます。



学校に行く途中で 落ちている枝があったら拾います。

給食のおばさんが 燃やして

わたしたちの給食を 作ってくれます。

家に余分があるときは魚や、野菜や、果物とか

持っていきます。

給食の材料になるのです。



学校に着くと、教室でCSBドリンクを飲みます。
ちょっととろみのある栄養ドリンクみたいなもの。
2時間くらい歩いてくる子もたくさんいるので、
みんなおなかがぺこぺこ。
朝何も食べられなかった人も、これで勉強ができます。
おなかがすいたままだと、ボーとしてしまうでしょう？
家に食べるものがなくて、
夕ごはんもちょっとしか食べられなかった日は
本当に嬉しいです



となりの席のエリは12歳。

今まで 家のことをしなくてはならなくて
学校に来られなかったの。

もっと年の離れた同級生もいます。

わたしは 学校が大好き。

お友達がたくさんいるし、

いろんな事 教えてもらえるし・・・。

でも、1年生のとき仲良しだったマリアは、

お母さんが病気になったので、学校に来られなくなりました。

また一緒に勉強できるといいな。



学校には畑があって、みんなで せわをします。
できた野菜は 給食に使ったり、市場で売って
そのお金で 学校のこわれたところを、直したりします。
野菜の作り方を習うこともできるし、
わたしは とても気にいっています。

今度にはわとり小屋ができるんだって。
今、生徒のお父さんたちが 作っています。



学校には 給食を作る台所があります。

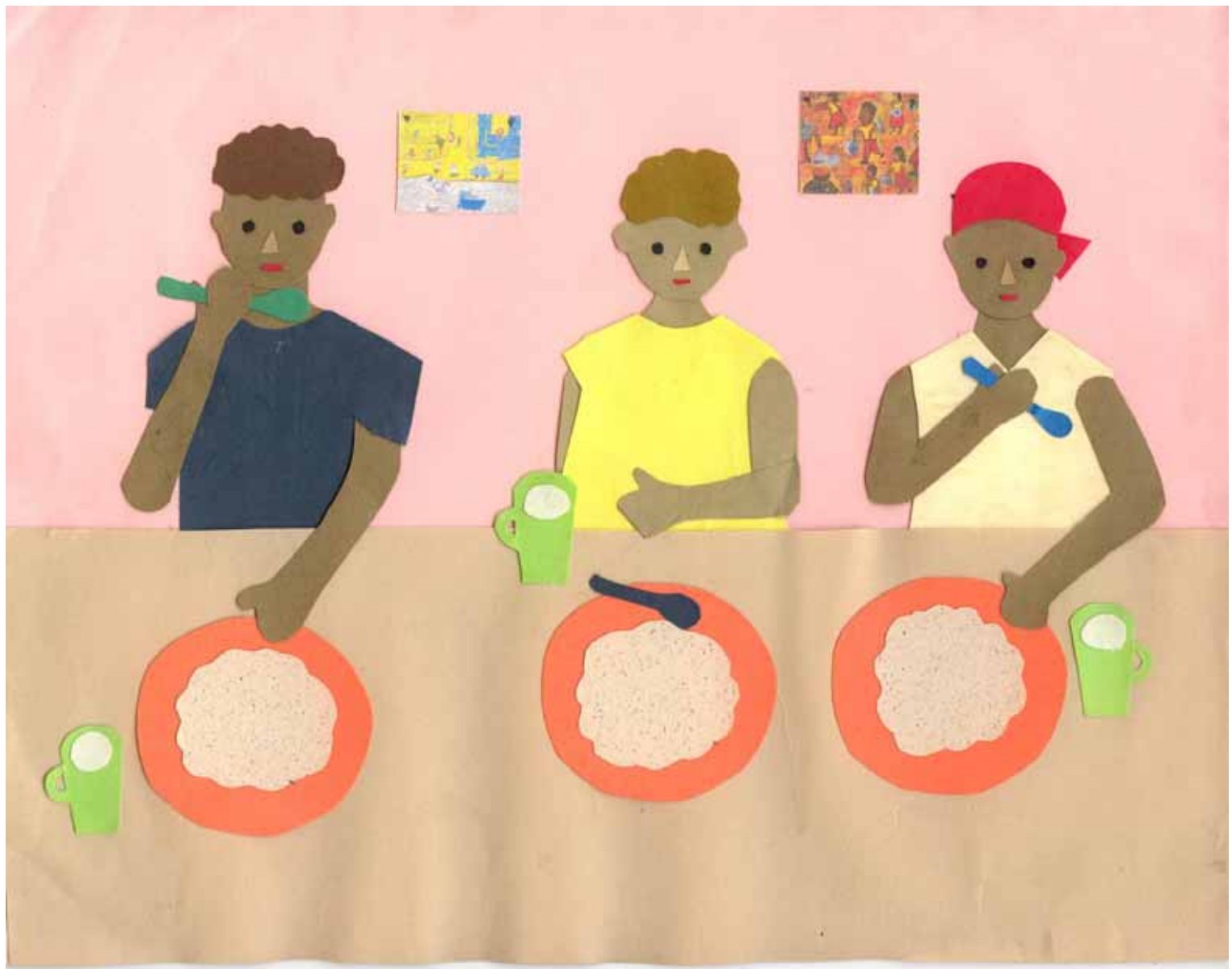
料理用のかまどの作り方は 日本の人に教わりました。

今までの半分のまきで、料理ができるんですって。

向こうに見えるのは 貯蔵庫。

WFPが運んでくれる 粉や油などを しまっておくところ。

両方とも、お父さんやお母さんが みんなで建てました。



授業が終わると 給食を食べるの！

WFPがくれるCSBと言う粉を お湯で溶いて煮ながら
何度も練って 作ります。

野菜や、魚のスープがつくこともあります。

わたしたちは トウモロコシを粉にして 食べるのだけど
CSBには 大豆の粉が混ぜてあって、
そのほかにもいろんな栄養が入っているんだって！



給食を作るのも村の人です。
字を習い、栄養のことも勉強するので、
じぶんの家でも すごく 役にたつんだって！
近所の人に教えてあげることもできます。

学校は わたしたちが勉強するだけでなく、
村の人が集まっているんな相談をしたり、
お母さんたちが 字や、裁縫などを
習う場所に なっています。



学校から帰ると 家の手伝いをします。
弟をお守りしながら、今日の夕ご飯のために
トウモロコシを粉にしました。
お母さんは家のことや 畑仕事で大忙し。
わたしもできるだけ手伝います。

赤ちゃんをおんぶしているのは 隣に住んでいる
いとこのベス。
まだ5歳だけど とても上手に赤ちゃんの世話が
できます



村に井戸ができました。

水汲みは ちょっと前まで 学校よりもっと遠い
泉まで 行かなきゃ ならなかったの。

でも今は15分で行けます！

帰りは お水が重いから もう少しかかるけど・・・。

この井戸はW F Pと村の人たちが協力して作りました。

村の人たちは働いた分だけ食べ物が配給されました。

食べ物が足りない人たちが 先に仕事をもらえたので、
とても助かったそうです。



お兄ちゃんは、朝早くから お父さんたちと 畑仕事をします。
にわたりの世話も おにいちゃんの仕事なの。
それから学校に行って、給食を食べてから 勉強です。
4時過ぎに学校から帰ると水汲みにいきます。
そのとき友達とサッカーをしたりして、
時々遅くなって しかられてるの。

お兄ちゃんは おとなになったら
エンジニアになりたいんですって。



エンジニアって、建物や 橋や 機械を 作ったり、
どうやって作るのかを 考える人のことなんだって。
かっこいいよね。

そのためには 中学校に行って、できたらもっと上の学校に行っ
て、たくさん勉強しなきゃ いけないの。
でも、中学校には給食がないので、いけるかどうか分かりません
。



わたしは 大きくなったら
看護婦さんに なりたいなー。
ほんとうは お姉さんが いたのだけれど
3歳にもならないのに
「栄養失調」で死んでしまいました。
わたしが 生まれる前のことです。

看護婦さんになって そんな小さな子を
助けてあげたいの。



みんなは 大きくなったら 何になりたいですか。
いつか会えるといいなー。
それまで 元気で 頑張ろうね！

参 考

WFPは開発途上国において、過去40年以上に渡って世界最大の規模で学校給食を提供してきました。2007年には、およそ1,930万の子どもたちに給食を支援しました。学校給食プログラムの目的は、衛生・健康・教育面のニーズに応え、より多くの貧しい子どもたちが栄養価の高い食事を食べ、また教育を確実に受けられるよう保障することです。

学校給食の役割：

- ・就学率と出席率が著しく向上します。
- ・空腹が満たされれば、児童は学習に専念できるようになります。
- ・子どもたちは少なくとも1日に1回は栄養価の高い食事をとることができます。
- ・家にいることが当然とされていた女子にも学習の機会が与えられます。
- ・親も子どもたちを働かせるより通学させることを選ぶようになります。